

粉体圧縮プロセスの数値解析(DEM、FEM)の基礎から最新の研究事例・今後の展望

セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260170>

1名料金で
2人目無料

- ◆日時：2026年01月29日(木) 13:00～17:00
- ◆【アーカイブ配信受講：1/30(金)～2/5(金)】を希望される方は、
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260170A> こちらからお申し込み下さい。
- ◆受講料：1名につき49,500円(税込、資料付)

会員（案内）登録していただいた場合、通常1名様申込で49,500円（税込）から
 ・1名で申込の場合、**46,200円（税込）**へ割引になります。
 ・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計49,500円（2人目無料）**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：大阪公立大学 大阪公立大学大学院 工学研究科 物質化学生命系専攻
 化学工学分野 准教授 博士(工学)大崎 修司 氏 【ご専門】化学工学・粉体工学・数値解析・粒子合成

【講演の趣旨】

粉体圧縮プロセスの数値解析について基礎的な知識から最新研究事例まで、分かりやすく紹介させていただきます。対象としているプロセスは、医薬品製剤と全固体電池が中心ですが、ご紹介する内容は全ての粉体圧縮プロセスに共通するはずです。まず、基礎的な知識として、粉体シミュレーション手法である、離散要素法(Discrete Element Method; DEM)と有限要素法(Finite Element Method; FEM)について概要をご紹介いたします。さらに、微粉体ならではの付着性、粉体材料の塑性変形性、および圧縮速度が粉体圧縮プロセスに与える影響に関する数値解析事例について紹介します。

【プログラム】

- はじめに
 - 1-1 粉体圧縮プロセスとは
 - 1-2 数値シミュレーション(DEM・FEM)を用いた粉体圧縮プロセスの解析
- 粉体圧縮プロセスの数値解析手法
 - 2-1 離散要素法(Discrete Element Method; DEM)の概要
 - 2-2 有限要素法(Finite Element Method; FEM)の概要
- 粉体物性が圧縮プロセスに与える影響 -全固体電池を対象に-
 - 3-1 全固体電池の圧縮プロセス -付着性・塑性変形性について-
 - 3-2 付着性が圧縮プロセスに与える影響
 - 3-3 塑性変形性が圧縮プロセスに与える影響
- 高速圧縮プロセスの数値解析と実験的検討 -ロータリー打錠機を対象に-
 - 4-1 ロータリー打錠機を用いた粉体圧縮 -高速圧縮と粘弾塑性について-
 - 4-2 粘弾塑性の粉体圧縮プロセスにおける圧縮速度の影響
 - 4-3 高速圧縮プロセスにおける応力解析と成型性評価
- 多粒子有限要素法を用いた粉体圧縮成形プロセスと成形体の圧壊強度試験の数値解析
 - 5-1 多粒子有限要素法(MP-FEM)の概要
 - 5-2 MP-FEMを用いた粉体圧縮成形プロセスの解析
 - 5-3 MP-FEMを用いた圧壊強度試験の解析
- さいごに
 - 6-1 粉体圧縮プロセスの数値解析における今後の展望

【粉体圧縮プロセス セミナー申込書】※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒<□LIVE／□アーカイブ>

会社・大学		
住 所	〒	
電話番号		FAX

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。 Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的に受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧下さい。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧下さい。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>